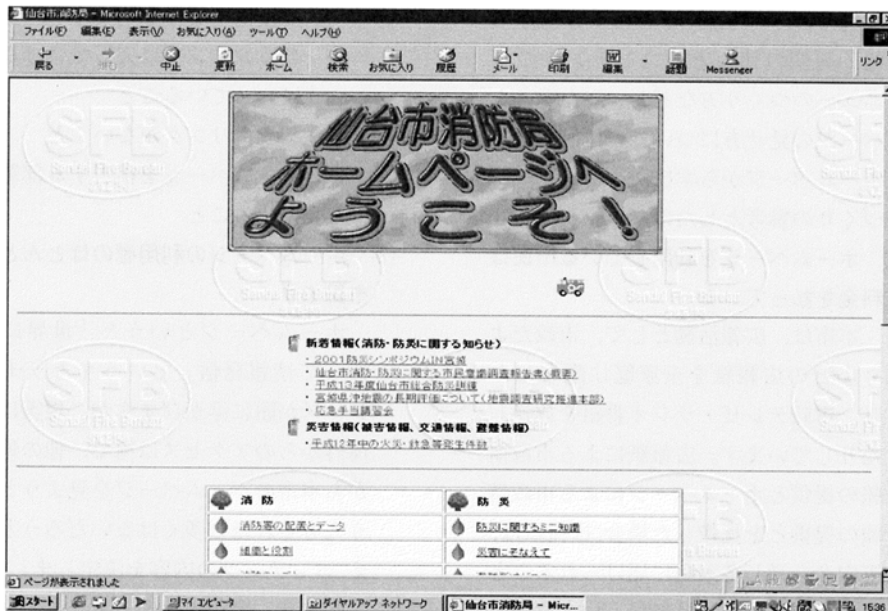


# 特集

## 消防防災情報に関する 情報システムの新潮流(1)

### □仙台市消防局ホームページについて

仙台市消防局管理課



#### 1 ホームページ開設の経緯

仙台市では、行政の透明性の確保、市民の行政参加の促進を図る目的で、平成7年8月からホームページを立ち上げ、行政情報の発信に努めてきました。しかし、2年を経過した平成9年頃から、消防局内に「他の政令

指定都市の消防本部は体系的なホームページを持っており、他都市に比べて情報化が非常に遅れている」という意見が出始め、本市の消防行政におけるインターネットの活用について検討した結果、平成12年5月に全面的なリニューアルを実施しました。

## 2 ホームページを作成する上で留意した点

### (1) ホームページを見る目を養う

初めに、本局が意図したホームページを作成するために、他の自治体のホームページは言うに及ばず、あらゆるジャンルのあらゆるホームページを見て、それぞれのホームページの良い点悪い点を判断する感覚を身につけるよう努めました。

例えば、ページのデザイン、文字の色、画像の使い方やコンテンツのメニューのつくり方などといったホームページの見せ方についての技術を他のホームページから学び、ホームページづくりの参考としたのです。

### (2) ホームページを利用している市民は料金を払っている

本市は、広報活動として、市政だよりなどの広報紙を全家庭に配布したり、市政テレビ・ラジオ番組を放送したりしています。広報紙による市政情報の提供とホームページによる市政情報の提供とを比較した場合、広報紙は、町内会を通じ各家庭に届けられることから、市民としては無料という意識があり、一方、ホームページは、アクセスポイントまでの電話料を支払っているという理由から、市民としては有料という意識が強いのではと考えました。

したがって、例えば、トップページがなかなか表示されないとか、表示はされたもののコンテンツのメニューがないとか、ホームページの中で他のコンテンツへリンクするための文字のボタンを押した時に、リンク先の情報がなく、行き止まりになってしまう(デッドリンク)などのトッ

プページの欠陥があれば、市民はコンテンツの中身に入ることなくアクセスを止めてしまうのではと考えたのです。

このことから、次に掲げる項目に留意し、トップページを作成しました。

- ◆画面が重くなるような画像や特殊な技術を使わないこと
- ◆各コンテンツに入っていけるようになっていること
- ◆デッドリンクがないこと
- ◆ホームページを担当する部署を表示すること

### (3) ホームページの利用者のほとんどは市民です

ホームページというと「世界に向かって情報発信」というキャッチフレーズが頭に浮かびますが、現実には、海外からのアクセスは稀で、他の地域から本市のホームページを見ようという人もそれほど多くはないだろうと考え、コンテンツの内容を決定しました。

つまり、今後インターネットが家庭にも普及していくことを想定すれば、市民とのコミュニケーションの手段としてホームページを位置付けることが最も効果的であると考えたのです。

### (4) コンテンツが不足していても「とりあえず」発信

開設当初から全ての部署の情報が漏れなく掲載されているホームページを作成しようとは考えませんでした。消防 50 周年記念誌で使用した写真や文章を基本に、これまでチラシやポスターなどで市民に知らせてきた消防に関する情報からコンテンツを選択して、発信をスタートした

のです。

#### (5) 消防・防災に関する情報は仙台市消防局ホームページから

最後に、本局ホームページに全国の消防に関するあらゆる情報が集まってくるようにするということをホームページ作成上の目標に掲げました。言い換えれば、本局ホームページにアクセスすることにより、全国の消防に係る情報を市民が入手できる状況になるということをホームページの特徴にしようと考えたのです。

### 3 ホームページの紹介

職員の手づくりで作成した仙台市消防局ホームページは、市民のニーズにあった情報を発信できるよう、年2回程度の定期的な更新のほか、必要に応じ随時更新を行い、内容の充実を図っています。では、以下、主なコンテンツの内容について紹介します。

#### (1) トップページ

壁紙には、利用者に親しみやすさをもっていただくために、組織名称の英語表記である SendaiFireBureau をデザインしたシンボルマークを使用しています。

また、ホームページの鮮度と利用者の信頼性を確保する目的で、新着情報(消防・防災に関するお知らせ)のメニューを設けています。

#### (2) 消防のページ

消防のページでは、多くの市民に消防の業務を理解していただくように、写真と文章で紹介しています。

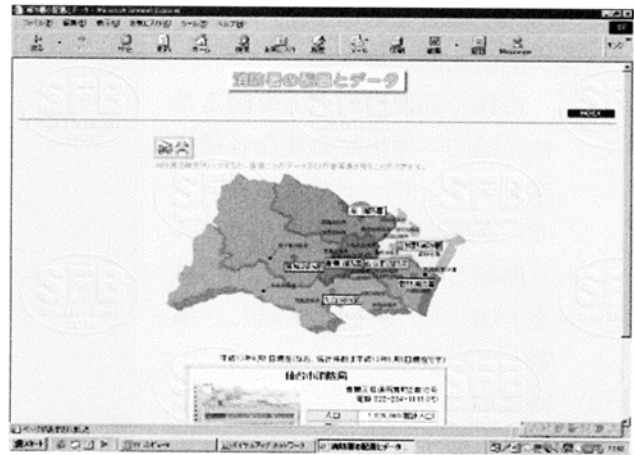


図 1

#### ① 消防署の配置とデータ(図 1)

消防署の配置とデータでは、市内の 6 消防署 2 分署 20 出張所の位置を地図にプロットしてあり、そのポイントをクリックすると 6 消防署の庁舎の画像を見ることができます。

また、管内面積、管内人口、配置職員数、保有車両数などの消防力に関するデータや火災・救急件数などの災害データも掲載しています。

#### ② ミニミニ消防辞典

ミニミニ消防辞典では、火の用心 7 つのポイント、放火されないための環境づくり、119 番への通報要領や携帯電話からの 119 番の通報要領など消防に関する知っていて得する情報を掲載しています。

#### ③ 消防局関係様式集

市民の利便性の向上を図るため、消防へ届出が必要な各種様式をダウンロードできるページで、平成 13 年 1 月からサービスを開始しました。各種届出用紙を PDF ファイルで作成し、掲載

しています。

### (3) 防災のページ

防災に関する情報の内容が充実しているのも、本局ホームページの大きな特徴のひとつです。このページは防災情報を発信することを主眼に作成しており、災害の予防やいざというとき被害を最小限に抑えるための情報などを掲載しています。

#### ① 防災に関するミニ知識

災害発生のメカニズムや災害対応の方法についてイラストを交えてわかりやすく説明しています。

#### ② 災害に備えて

災害による被害を最小限に抑えるための知恵や防災について日頃からの注意すべき事項を掲載しています。

また、防災担当部署の連絡先、指定避難所などの位置や規模についての情報も知ることができます。

#### ③ 被害想定(図2)

本市では、阪神・淡路大震災の教訓を踏まえて、大規模災害に対しても機能する防災体制の整備指針とするため「仙台市防災都市づくり基本計画」を平成7年度から2ヵ年をかけて策定しました。このページにはこの計画から抜粋した被害想定の結果を掲載しています。

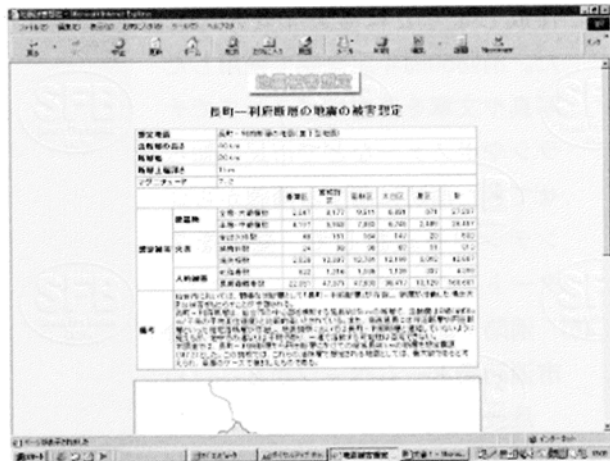


図2

## 4 ホームページ運用の今後の課題

前述したとおり、仙台市消防局は、既にホームページを開設し、インターネットを通じて市民に市政情報の提供を行っていますが、本市においては、インターネット経由での情報の受発信はインターネット利用システムを運用管理している部署(企画局情報政策部)において一括して行っているため、掲載する情報の鮮度、市民の意見や要望に対する対応が不十分な状況にあります。

こうした状況を改善するためには、本局が直接情報を発信し、直接市民の意見や要望などを受信できるハード面の整備が必要であり、また、市政情報の提供、市民の意見や要望に対する回答に関して、本局が責任をもって直接行えるソフト面での体制づくりが必要であると考えています。